

1 1 月 2 4 日

11月24日(木) 午前10時00分開議

出席議員

1番	平川博之	2番	酒永光志
3番	上本一男	4番	中下修司
5番	花野伸二	6番	浜先秀二
7番	上松英邦	8番	吉野伸康
9番	山本秀男	10番	片平司
12番	林久光	13番	登地靖徳
14番	浜西金満	15番	山本一也
16番	新家勇二	17番	野崎剛睦

欠席議員

18番 山根啓志

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	田中 達美	副市長	土手 三生
教育長	塚田 秀也	総務部長	山本 修司
市民生活部長	山田 淳	福祉保健部長	峰崎 竜昌
産業部長	長原 和哉	土木建築部長	木村 成弘
企画部長	渡辺 高久	会計管理者	島津 慎二
教育次長	小栗 賢	危機管理監	岡野 数正
消防長	丸石 正男	企業局長	前 政司

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	志茂 典幸
議会事務局次長	前田 憲浩

議事日程

日程第1	諸般の報告
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	会期の決定
日程第4	常任委員の選任について
日程第5	議会運営委員の選任について
日程第6	報告第8号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
日程第7	議案第57号 平成27年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について
日程第8	議案第58号 平成27年度江田島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

- |        |          |   |
|--------|----------|---|
| 日程第 9  | 議案第 59 号 | 平成 27 年度江田島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について          |
| 日程第 10 | 議案第 60 号 | 平成 27 年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について     |
| 日程第 11 | 議案第 61 号 | 平成 27 年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について |
| 日程第 12 | 議案第 62 号 | 平成 27 年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について      |
| 日程第 13 | 議案第 63 号 | 平成 27 年度江田島市港湾管理特別会計歳入歳出決算の認定について             |
| 日程第 14 | 議案第 64 号 | 平成 27 年度江田島市地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について           |
| 日程第 15 | 議案第 65 号 | 平成 27 年度江田島市宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について           |
| 日程第 16 | 議案第 66 号 | 平成 27 年度江田島市交通船事業特別会計歳入歳出決算の認定について            |
| 日程第 17 | 議案第 67 号 | 平成 27 年度江田島市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について           |
| 日程第 18 | 議案第 68 号 | 平成 27 年度江田島市下水道事業会計決算の認定について                  |
| 日程第 19 | 議案第 69 号 | 江田島庁舎耐震補強及び改修工事（建築）請負契約の変更について                |

## 開会（開議） 午前１０時００分

○副議長（登地靖徳君） ただいまから、平成２８年第５回江田島市議会臨時会を開きます。

出席者数は１６名でございます。

議長の山根啓志君が会議におくれる旨、届け出がありました。

そこで、私がしばらく議事を進行させていただきますので、よろしくお願いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

なお、本日の臨時会に際して、報道関係者から写真撮影及び録音の申し出がありましたので、江田島市議会傍聴規則第１４条の規定により、これを許可いたします。

### 日程第１ 諸般の報告

○副議長（登地靖徳君） 日程第１、諸般の報告を行います。

田中市長から報告事項がありますので、これを許します。

田中市長。

○市長（田中達美君） 皆さん、おはようございます。

第５回江田島市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御出席をいただきましてありがとうございます。

また、市民の方々には、早朝から臨時会の傍聴にお越しいただきまして、心からお礼申し上げます。

さて、本臨時会には、江田島市庁舎整備ガイドラインに基づく、庁舎の再編整備に伴う、江田島庁舎耐震補強及び改修工事（建築）請負契約の変更についての議案を上程させていただきました。

慎重審議のほど、よろしくお願いいたします。

また、平成２７年度一般会計ほか１１会計決算の認定につきましては、去る９月７日に決算審査特別委員会に付託され、９月１５日から９月３０日にかけて、所管の３分科会に分割され、議員の皆様には熱心なる御審査をいただきました。このことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

それでは、第４回定例会閉会後の市政の主な事柄につきまして、１２項目報告を申し上げます。

まず第１点目が、自衛消防隊消防競技大会についてでございます。

９月１６日、能美運動公園で、第２４回自衛消防隊消防競技大会を実施しました。この大会は、職場や地域における初期消火技術の習得、自衛消防力の強化を目的に、市内各事業所、自主防災会及び自治会から、４９チーム１１９人が参加して、屋内消火栓の部及び消火器の部と、地下式消火栓を使用した市民の部に分かれて競技しました。

今後も、この大会を継続し、火災予防思想の普及・高揚に努めてまいります。

2点目が、江田島市空き家等対策協議会についてでございます。

9月29日、市役所で、平成28年度第1回江田島市空き家等対策協議会を開催しました。この協議会は、空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき設置したもので、有識者等から空き家対策に関する意見をいただきながら、江田島市空き家等対策計画を作成するほか、総合的かつ計画的に空き家対策を実施するためのものです。

当日は、本市における空き家対策のこれまでの取り組みや、空き家の実態などについての報告を行うとともに、今年度の取り組みに向けたスケジュールなどについて協議しました。

次回以降の協議会において、空き家対策に係る議論を深めてまいります。

3点目が、ヒロシマMIKANマラソン大会についてでございます。

10月16日、広島県立大柿高等学校をメイン会場として、第31回ヒロシマMIKANマラソン大会を開催しました。大会には、市内を初め、北は群馬県から南は鹿児島県まで、全国各地から2,241人の参加がありました。今回は、ゲストランナーとして、日本体育大学駅伝部の秋山清仁さんと山口和也さんを迎え、参加者に日本学生長距離界トップレベルの走りを肌で感じていただきました。

当日は、マラソン大会に合わせて、ふれあい産業まつりも開かれ、市内外から大勢の方が訪れ、大盛況となりました。また、熊本地震の義援金として、大会参加費の一部を寄附しました。

御協力いただいた関係機関、団体の大会役員を初め、沿道で声援を送っていただいた市民の皆様にお礼を申し上げます。

4点目が、江田島市少年健全育成意見発表大会についてでございます。

10月20日、江田島中学校で、江田島市防犯連合会主催による、第31回江田島市少年健全育成意見発表大会が開催されました。市内4中学校の生徒代表8人が、来場者300人の前で、友達や学校、家庭、地域の中で日ごろ考えていることや感じていることをテーマに発表しました。また、江田島中学校吹奏楽部の演奏も披露され、大会を盛り上げました。

今後も、この事業を支援して、青少年の健全育成に努めてまいります。

5点目が、江田島市戦没者追悼式についてでございます。

10月21日、農村環境改善センターで、江田島市戦没者追悼式を挙行了しました。この式典は、さきの大戦で戦死された戦没者を追悼するため、本市の主催により、毎年厳かに実施しています。

当日は、約200人の御遺族や来賓者が参列し、江田島市戦没者之霊に献花し、戦没者の冥福を祈るとともに、恒久平和の実現への誓いを新たにしました。

6点目が、広島県石油コンビナート等総合防災訓練についてでございます。

10月25日、江田島町江南及びその周辺海域で、広島県石油コンビナート等防災本部の主催により、平成28年度広島県石油コンビナート等総合防災訓練が実施されました。

当日は、広島県石油コンビナート等防災計画（江田島・能美地区）に基づき、防災関係機関、事業所、自主防災組織等の31機関322人が参加し、石油コンビナート等特

別防災区域に係る各種災害の発生を想定した実動訓練を行いました。

今後も、関係機関が連携・協働して総合的な訓練を実施することにより、防災意識の高揚を図るとともに、災害時における有機的かつ効果的な協力体制を確立したいと考えております。

7点目が、江田島市表彰式及び江田島市美術展表彰式についてでございます。

11月3日、農村環境改善センターで、平成28年度江田島市表彰式及び第12回江田島市美術展表彰式をとり行いました。

江田島市表彰式では、別紙1のとおり、特別功労表彰1人、善行表彰3人、4団体を表彰し、江田島市美術展表彰式では、各賞の受賞者32人を表彰しました。

受賞された皆様の、今後ますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げます。

8点目が、江田島市美術展についてでございます。

11月3日から11月6日までの4日間、農村環境改善センターで、第12回江田島市美術展を開催し、994人の来場者がありました。

市美術展は、一般、高校生、小・中学生から出品された2,012作品のうち、入選した絵画、書、写真、彫塑工芸など207作品のほか、審査員特別出品を含めた215作品を展示しました。

また、会場内では、ギターやマンドリン、オルゴールによるミニコンサートのほか、江田島市文化協会作品発表会を同時開催し、多くの市民の方々に文化・芸術に触れることで、心の豊かさと潤いを感じていただくことができたと思います。

9点目が、江田島市総合教育会議についてでございます。

11月16日、市役所で、平成28年度第2回江田島市総合教育会議を開催しました。この会議は、教育に関する予算の編成・執行、条例提案など、重要な権限を有している市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るためのものです。

当日は、平成29年度新規・拡充事業について協議し、活発な意見交換を行うことができました。

今後も、市長部局と教育委員会において、教育行政の方向性を共有できるよう、さらなる連携を図ってまいります。

10点目が、フェスティバル江田島2016についてでございます。

11月20日、国立江田島青少年交流の家で、フェスティバル江田島2016が開催されました。ことしで27回目を迎えたこのイベントは、地域の教育力を高めることを目的に開かれ、市内外から約1万5,000人の来場者でにぎわいました。

当日は、羽生善治さんの講演会や江田島産の蒸しカキコーナー、特産品の販売、子どもプレイゾーンなど多彩な催しが行われるとともに、市内の小中学生・高校生による演奏などのステージショーも披露されました。

また、東日本大震災の復旧・復興のために本市のフェリーを無償貸与した縁で、ことしも宮城県気仙沼市の大島汽船株式会社から2,000匹のサンマが届き、炭火焼きにして、来場者に本場の秋の味覚を堪能していただきました。大島汽船株式会社からの御厚意が、今回で最後となるため、サンマとは別に、ふかひれスープ1,000パックも

届けられ、来場者は、思いがけないプレゼントに目を細めていました。

御協力いただいた関係機関、団体の皆様に感謝を申し上げます。

11点目は、各種定期総会等についてでございます。

このことについて、別紙2のとおり開催され、市長、副市長及び関係部課長が出席しました。

最後に12点目は、工事請負契約の締結についてでございますが、別紙3のとおり契約を締結いたしております。

以上で、市政報告を終わります。

○副議長（登地靖徳君） 以上で、市長の報告を終わります。

次に、議長報告を行います。

胡子雅信議員が、去る11月13日執行の江田島市長選に伴う立候補の届け出を、11月6日に行いましたので、公職選挙法第90条の規定により、同日付で議員辞職となりました。これにより、江田島市議会議員の数は17名となりました。

なお、議席番号11番は空席とし、議席の変更は行いません。

また、去る11月17日、新家勇二議員から文教厚生常任委員会副委員長の辞任願が提出され、委員会条例第13条の規定により、文教厚生常任委員会で許可いたしました。

なお、新家副委員長の後任には、平川博之君が互選されました。

以上で、議長報告を終わります。

これで、諸般の報告を終わります。

## 日程第2 会議録署名議員の指名

○副議長（登地靖徳君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において1番 平川博之議員、2番 酒永光志議員を指名いたします。

## 日程第3 会期の決定

○副議長（登地靖徳君） 日程第3、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日限りといたしたいと思えます。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、会期は1日限りと決定いたしました。

## 日程第4 常任委員の選任について

○副議長（登地靖徳君） 日程第4、常任委員の選任についてを行います。

胡子雅信議員の辞職に伴い、総務常任委員が欠員となりました。

お諮りします。

欠員に伴う総務常任委員の1名の選任については、委員会条例第8条第1項の規定によって、議長において新家勇二君を指名したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

したがって、新家勇二君を総務常任委員に選任することに決定いたしました。

この際、暫時休憩をいたします。

(休憩 10時17分)

(再開 10時30分)

○副議長(登地靖徳君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に先立ち、総務常任委員会の副委員長が互選されましたので、報告いたします。

総務常任委員会副委員長 新家勇二君。

以上であります。

#### 日程第5 議会運営委員の選任について

○副議長(登地靖徳君) 日程第5、議会運営委員の選任についてを行います。

胡子雅信議員の辞職に伴い、議会運営委員会の委員が欠員となりました。

お諮りします。

欠員に伴う議会運営委員の1名の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、議長において平川博之君を指名したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

したがって、平川博之君を議会運営委員に選任することに決定しました。

この際、暫時休憩をいたします。

(休憩 10時31分)

(再開 10時37分)

○副議長(登地靖徳君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に先立ち、議会運営委員会の委員長が互選されましたので、報告いたします。

議会運営委員会委員長 新家勇二君。

以上であります。

#### 日程第6 報告第8号

○副議長(登地靖徳君) 日程第6、報告第8号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)を議題といたします。



直ちに、提出者から報告を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君） ただいま上程されました報告第8号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）でございます。

地方自治法第180条第1項の規定により指定された、市長の専決事項の指定についてに基づきまして、和解及び損害賠償の額の決定について専決処分しましたので、同条第2項の規定によりまして、議会に報告するものでございます。

内容につきましては、市民生活部長をして説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

○副議長（登地靖徳君） 山田市民生活部長。

○市民生活部長（山田 淳君） それでは、報告第8号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）説明いたします。

議案書1ページをごらんください。

このたびの専決処分は、交通事故に係る損害賠償の額の決定でございます。

相手方は1名で、損害賠償額は表に示すとおりでございます。

事故の内容につきまして、2ページ、専決処分書をごらんください。

事故の概要にありますとおり、平成28年8月16日、午後4時45分ごろ、江田島市大柿町大原の江田島市職員第2駐車場におきまして、市市民生活部所属の職員が帰庁途中に別の用務のために公用車を方向転換しようとした際、当該職員の安全確認不足により、公用車後部が相手方車両の側面に接触し当該車両を損傷させたもので、この事故における損害について、相手方と和解し、損害賠償の額を決定したものでございます。

和解の相手方は、江田島市江田島町秋月〇丁目〇番〇号、〇〇〇さんで、損害賠償額は19万1,880円、専決処分年月日は平成28年9月9日でございます。

今回、このような事故を起こし、まことに申しわけございませんでした。今後、このような事故のないよう、交通安全の徹底について、職員に注意喚起を行ってまいります。

なお、損害賠償額は、本市が加入しております総合損害賠償保険で補填されております。

以上でございます。

○副議長（登地靖徳君） 以上で報告第8号の報告を終わります。

## 日程第7 議案第57号～日程第18 議案第68号

○副議長（登地靖徳君） 日程第7、議案第57号 平成27年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、日程第18、議案第68号 平成27年度江田島市下水道事業会計決算の認定についてまでの、12議案を一括議題といたします。

本議案に関し、酒永光志決算審査特別副委員長の報告を求めます。

酒永委員長。

○決算審査特別副委員長（酒永光志君） 決算審査特別委員会副委員長の酒永でございます。登地委員長が本日、議長席に着いておられますので、副委員長の私が報告をい

たします。

平成28年11月24日。

江田島市議会議長 山根啓志様。

決算審査特別委員会報告をいたします。

本委員会は、平成28年第4回江田島市議会定例会本会議において付託された議案について、総務、文教厚生、産業建設の3分科会に分割し、9月15日、16日に産業建設分科会、9月27日、28日に文教厚生分科会、9月29日、30日に総務分科会を開催し慎重に審査した結果、次のとおり決したので、会議規則第103条の規定により報告をいたします。

審査した議案は、議案第57号 平成27年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、議案第68号 平成27年度江田島市下水道事業会計決算の認定についてまでの12議案でございます。

審査の概要についてでございます。

本審査に当たっては、会計決算書及び附属書類、証書類は全て監査委員の審査済みであり、その意見書も提出されておりますが、計数的な面を含め予算の執行が議会議決の趣旨を尊重し、適正にして公正かつ能率的に執行されたかどうか、あるいは行政の目的とする地域住民の福祉の推進のためにどのような効果を上げることができたか、行政効果の観点から審査を行ってまいりました。

審査の結果についてですが、平成27年度の一般・特別及び各企業会計の決算認定等に当たっては、前述したような審査の着眼点に基づき、市長、教育長、各関係部課長から決算概要を聴取するとともに、決算審査意見書、これは基金運用状況を含みます、及び主要施策の成果に関する報告書等を参考に検討を行ったところ、一般・特別及び各企業会計決算は適法にしてかつ、予算議決の趣旨を尊重しながら、健全な財政運営に努められていると認めたとところでございます。

よって、平成27年度一般・特別の各会計決算については、賛成多数で認定すべきものとし、平成27年度江田島市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、及び平成27年度江田島市下水道事業会計決算の認定については、全会一致で原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

なお、個別意見並びに要望事項は、配付資料に記載しているとおりでございます。

以上で、報告を終わります。

○副議長（登地靖徳君） これをもって、決算審査特別委員長の報告を終わります。

これより、委員長の報告に対する質疑に入ります。

なお、委員長への質疑は、報告にあります委員会の経過と結果に対するものでございます。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

まず、本12議案に対する反対討論の発言を許します。

10番 片平議員。

○10番（片平 司君） 平成27年度決算認定に、反対の立場で討論に参加します。

安倍首相の経済政策、アベノミクスはリニア中央新幹線など巨大事業を借金頼みで推進、また国民に多大な損失を与えるTPP（環太平洋連携協定）をTPP離脱を掲げたトランプ氏が米大統領に当選直後に強行採決をした。米国のみならず、日本でも各国でも反対や批判の声が広がる中で、強行に採決へ突き進むはまさに愚の骨頂である。

大企業への優遇施策を推し進める一方で、介護保険制度においては要支援1・2の人を保険給付から外し、市町が実施する地域支援事業を平成28年4月から実施開始をした。厚労省が示す最も有利な条件で財源確保ができていない。3月移行と4月移行は、期間的にわずか1カ月である。

この1カ月の差が、後々、財源に大きく影響し、平成28年、29年に上限を超え、年間約300万円の赤字が予測される。300万円の金額が、事業に影響がないとの金銭感覚は問題である。

今後、有利な条件を生かすこと、目標を立て計画的な取り組みをする検証がされていない。

福祉用具貸し出しや、住宅改修の原則自己負担化については、全国からの反対の声で延期され、内容が見直しをされているが形を変えての負担増が予測される。

要介護2までの軽度者については、利用料の1割から2割以上への引き上げ方針を示している。このようなときこそ、地方自治体は住民の防波堤になるべきで、その役割は重大である。

プライバシーを侵害する違憲のマイナンバーを推し進めている。多くの人はマイナンバーを日常的に使う機会はほとんどなく、必要性を感じていない。むしろ情報漏えいなどへの懸念が強い。一方で、なりすましや個人情報流出の危険は、より現実的になる。

昨年5月には、日本年金機構がサーバー攻撃を受け125万件もの個人情報流出。マイナンバー制度は、徴税強化と社会保障給付抑制を目的に、国が国民を監視する手段にされかねないことへの不安の声も強まっている。

マイナンバーカードの申請は任意で、総務省によれば、10月現在で1,165万件、交付は870万枚。運用状況を徹底検証し、制度を見直し中止へ踏み出すことが求められる。限られた予算の中で、無駄をなくし地方自治体の本旨である住民の福祉向上、住民サービスの向上のために財政の有効活用を求めて終わります。

以上です。

○副議長（登地靖徳君） 次に、本12議案に対する賛成討論の発言を許します。

16番 新家議員。

○16番（新家勇二君） 失礼いたします。

16番議員、新家勇二は、ただいま上程されております議案第57号 平成27年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、議案第68号 平成27年度江田島市下水道事業会計決算の認定についてまでの12議案について、賛成の立場で討論に

参加し、その理由について意見を述べさせていただきます。

まず、提出された12議案は、先ほど決算特別委員会委員長から報告のように、総務分科会・文教厚生分科会・産業建設分科会において、常任委員会所管ごとの各会計決算について、慎重審査の結果、賛成多数で決しております。

次に、財政指標を見ますと、平成27年度の健全化判断比率においては、実質赤字額及び連結実質赤字額は生じておりません。

また、3カ年平均の実質公債費比率は、昨年度の8.5%から1.1%減の7.4%、将来負担比率は昨年度の45.4%から18.9%減の26.5%と改善され、国が示す早期健全化基準も大きく下回り、堅実な数値を示しております。

地域開発事業、宿泊施設事業、交通船事業の各特別会計、水道事業、下水道事業の各企業会計においての資金不足比率も生じておらず、地方公共団体の財政の健全化に関する法律で、公表すべき4項目については、全て基準内に収まっております。

基金全体の保有高を見ますと、平成26年度末107億5,742万9,000円から、7億418万7,000円を積み増し、114億6,161万6,000円となっております。

そのうち、一般財源的基金である財政調整基金は、6億9,772万7,000円を積み増し、54億4,276万2,000円に、減債基金は125万7,000円を積み増し、9億4,037万9,000円となっており、標準財政規模に対する財政・減債の基金保有率は政令市の広島市を除くと、県内トップとなっております。

また、基金運用におきましては、公金管理協議会を開催し、江田島市資金管理及び運用基準並びに江田島市債権運用指針に基づいた運用により、その効果が出ていると判断するところでございます。

一方、市債残高は、一般会計では5億9,883万8,000円減の180億5,817万円、特別会計では1億9,143万8,000円減の2億5,375万4,000円、企業会計では4億9,223万2,000円減の70億1,927万3,000円となり、全会計では昨年末より12億8,250万8,000円減の、253億3,119万7,000円となっております。

これらの状況から、健全な財政運営に努めていると認められているところでございます。

平成27年度の各事業におきましては、主要施策の成果報告から一定の成果を確認するところでございますが、決算審査特別委員会の各分科会において、今後さらに検討を加え、是正すべき点を個別意見・要望事項として付しております。

この決算審査特別委員会報告書にある、個別意見を十分に尊重し、今後の適切な行財政運営と次年度予算編成に反映され、第2次江田島市総合計画のもと、市民の福祉向上のために、各部局間のさらなる連携のもと、市民目線に沿ったさらなる有効な施策を講じることを切望し、私の賛成討論といたします。

○副議長（登地靖徳君） ほかに討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

これより、本12議案について採決を行います。

まず、議案第57号 平成27年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、議案第66号 平成27年度江田島市交通船事業特別会計歳入歳出決算の認定について及び議案第68号 平成27年度江田島市下水道事業会計決算の認定についての11議案についての委員長の報告は、意見をつけ認定すべきものであるとするものであります。

本11議案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。  
(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本11議案については認定することに決定いたしました。

次に、議案第67号 平成27年度江田島市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についての委員長の報告は、可決及び認定すべきものであるとするものであります。

本案は、委員長の報告のとおり可決及び認定することに賛成の諸君の起立を求めます。  
(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案については可決及び認定することに決定いたしました。

この際、暫時休憩いたします。

(休憩 11時00分)

(再開 11時15分)

○副議長(登地靖徳君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

#### 日程第19 議案第69号

○副議長(登地靖徳君) 日程第19、議案第69号 江田島庁舎耐震補強及び改修工事(建築)請負契約の変更についてを議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長(田中達美君) ただいま上程されました議案第69号 江田島庁舎耐震補強及び改修工事(建築)請負契約の変更についてでございます。

平成28年5月12日に議決を得た議案第42号 江田島庁舎耐震補強及び改修工事(建築)請負契約の締結についてに関しまして、契約金額を変更したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定によりまして、議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては、総務部長をして説明申し上げます。よろしく願いいたします。

○副議長(登地靖徳君) 山本総務部長。

○総務部長(山本修司君) それでは、議案第69号の説明をいたします。

変更の内容につきましては、参考資料により説明いたします。

議案書の5ページをお願いします。

江田島庁舎耐震補強及び改修工事(建築)請負契約の変更について、内容を表にお示

しし、項目ごとに変更前、変更後の欄を設けております。

変更内容は2の契約金額で、変更前、1億4,785万2,000円、内消費税額及び地方消費税額は、1,095万2,000円を、変更後、1億6,994万8,800円、内消費税額及び地方消費税額は、1,258万8,800円とするものでございます。

変更の理由は、屋上防水の仕様変更や外壁補修の数量増加、OAフロアの追加施工などの、追加工事等を行うためでございます。

議案書の6ページから9ページには、平面図を添付し、主な変更箇所について赤字でお示しをしております。

以上で、説明を終わります。

○副議長（登地靖徳君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

9番 山本秀男議員。

○9番（山本秀男君） 2点ほど、お聞きしたいんですが、請負契約の変更ですが、改修工事だから若干の変更は、これはもうやむを得ないと思うわけですが、しかしながら今回、約2,200万円という増加で、今、お聞きしたらOAフロアの追加と、屋上防水の仕様変更が主なものだということですが、これらはもう、当初からわかっていることだろうと思うんですが、なぜ、変更になったのかその点をお聞きしたい。

それともう1点が、この追加工事、2,200万円ふえたわけですが、工期の変更をせずに大丈夫なのかどうか、その2点をお聞きいたします。

○副議長（登地靖徳君） 渡辺企画部長。

○企画部長（渡辺高久君） 申しわけありません。

OAフロアの追加施工の部分でございますが、基本設計段階で初期投資費用を抑えるということが1つの理由として、構造上必要な修繕を念頭に整備を検討しておりました。

また、実施設計段階において、今度はバリアフリーの対応でありますとか、その配線、その他モールで後で施工するというようなことを含めて、OAフロアとする方針を出してきておりましたが、時間的な制約で実施設計には盛り込むことができなかったということがございまして、工事中での変更として対応するというところで、進めてきていたということでございます。

以上です。

○副議長（登地靖徳君） 木村土木建築部長。

○土木建築部長（木村成弘君） 私のほうから、屋上防水の仕様の変更理由について御説明させていただきます。

屋上防水の仕様につきましては、塗膜防水とシート防水とがございまして。単純に費用比較をいたしますと、シート防水のほうが安価な工法ということになりますけれども、この現場におきましては、シート防水の場合には、モルタルによる下地調整が必要であります。しかし、塗膜防水については、既存の下地がそのまま使用できるということを考えて、下地調整が不要な分だけ安価となる、塗膜防水を採用していたところでござい

ます。

しかしながら、施工に際しまして、既存の防水保護ブロックを撤去したところ、下地となるモルタルの状態が非常に悪く、そのまま使用することができない状況が確認されました。このことから、下地調整として軽量モルタルを追加施工する必要があるというふうに判断をいたしました。

そうなりますと、シート防水のほうが安価でありますので、下地調整を含めたトータルの工事費が安価となるように、仕様を変更させていただくものでございます。

また、もう1点、工期の変更についても、あわせて答弁させていただきます。

この工期の変更につきましては、この今回、追加する工事の内容を施工業者のほうと詰めて、既存の現在の工期内で対応できるということの調整をいたしましたので、変更については行わないということで上程させていただいております。

以上です。

○副議長（登地靖徳君） 9番 山本秀男議員。

○9番（山本秀男君） 基本設計から実施設計まで時間がなかったから、今回、変更するんだという回答のようだったんですが、当然もう実施設計のときに検討はされるべきだろうと思うんですね。それはどうも、私には納得できんわけですね。

それと、この追加工事については、これからやられるわけでしょう。そうすると、工期は大丈夫かないように感じるわけですね。その点を、再度お願いいたします。

○副議長（登地靖徳君） 渡辺企画部長。

○企画部長（渡辺高久君） O Aフロアの件でございますが、まことに今の1階部分の電子機器、その他、今の非常用電源の配線等々がございまして、その部分で実施設計段階では、もう既に、その部分が進んでおったということがございまして、その後、今のそのどこまでをO Aフロアにするのか、その費用的なものはどうなのかというようなことが出てまいりまして、どうしてもやっぱりこれは、バリアフリーの関係もありますし、O Aフロアにしたいということだったんですが、そこを調整するのが随分おくれてしまいました。この件については、申しわけないと思っております。

以上でございます。

○副議長（登地靖徳君） 木村土木建築部長。

○土木建築部長（木村成弘君） 工期の件でございますけれども、これからやるものもあるんですけども、その辺の内容を含めて、施工業者のほうと調整をして、今回の工期の中で大丈夫だということをお願いしておりますので、問題なく施工できるだろうというふうに考えております。

以上です。

○副議長（登地靖徳君） 9番 山本秀男議員。

○9番（山本秀男君） 最後になりますが、防水について、委員会でもあったんですが、いわゆる公共施設について屋上ですよ、ほとんど点検されてないんですよ。いわゆる雨降って、ドレン周りなんかの掃除をされてないんです。委員会のときにも、江田島公民館でやって、教育委員会のほうも、実際、見てもらったんですよ。いわゆる日常の点検をしてもらわんと、防水をやりかえても、また屋上へはカラスやら何やらが来

ますので、よう詰まるんですわ、ドレン周りが。ぜひ、これからも、ほかの施設も含めて、点検、清掃をやっていただきたいというふうに思います。

以上です。

○副議長（登地靖徳君） ほかに質疑はありませんか。

10番 片平議員。

○10番（片平 司君） この件に関してなんですけど、今度、中町の多分、庁舎が耐震構造になるんじゃないか思うんじゃないけど、そのときに、こういうことのないように。

いうのは、今度、公民館が一緒になるわけでしょう、あそこは。かなり公民館でも、どうするこうする言うて、けんけんがくがくとやったんじゃないかと思うんじゃないけど、また増築でふえるじゃふえんじやいうようなことのないように、十分な設計と検査をしてもらいたいんじゃないけどね。

以上です。

○副議長（登地靖徳君） 答弁はいいですか。

○10番（片平 司君） はい。

○副議長（登地靖徳君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

なお、12月4日をもって、2期8年の任期が終了する田中市長から、退任の挨拶をしたいとの申し出がありました。

田中市長の発言を許します。

○市長（田中達美君） 本日は、私にとりましては最後の議会となりましたが、登地副議長のお許しをいただきまして、お礼の御挨拶をさせていただきたいと思います。

思い起こしますと、昭和58年6月、当時私は42歳でしたが、大柿町議会議員に初当選し、以後25年と5カ月間、町議会議員それから市議会議員を努め、この間、議長を5年5カ月経験させていただきました。平成20年12月5日から8年間は、市政を担当し、通算33年5カ月、行政に携わってまいりました。

この間、国内外では政治、経済、スポーツ、文化などさまざまな出来事がありました



が、最近だけでも国内政治では自民党にかわりまして、「チェンジ、チェンジ」と大きな声で言うておりました民主党が、政権をとった時期もございました。ただ、その民主党の統率力のなさや、また経験不足によりまして、わずか2年半ほどでもとの自民・公明政権に戻ったということがございました。

また経済では、平成20年のリーマンショックによる経済不況が続き、安倍総理がアベノミクスの3本の矢を放ち、大量の資金を市場に投入した結果、大企業では業績が回復していきまされたけれども、中小企業はいまだ、その恩恵を受けていないというように感じております。

また、構造の変化等により、個人所得の格差が新たに深刻な問題となっております。

さて、我々が愛する江田島市でございますが、最も思い出深いのは、長い時間をかけ議論を重ね、思いが1つになった、平成16年11月1日の4町による江田島市の誕生であったと思います。このような歴史的な大事業に立ち会うことができたものとして、生涯忘れることができない思い出となっております。

また、1000年に1度と言われる大被害を出しました、東日本大震災時に気仙沼市の大島汽船に対し、江田島市所有のカーフェリー「ドリームのうみ」を、平成23年4月から平成24年2月末までの11カ月間貸与し、この間、22万5,000人の人と5万2,000台の車を運び、復旧のための支援ができ、大島の人たちと江田島市とのきずなができたことが思い出深いものでございます。

また、先ほど申しました平成の大合併による江田島市の誕生についてですが、この大合併も財政の健全化、それから庁舎、新庁舎また公共施設の統廃合など、さまざまな課題を抱えて合併をしたわけですけれども、この12年間、皆様方の協力、また市民の皆様方の協力によりまして、財政健全化についても計画どおり進めてまいりまして、一定の成果が上がったのではないかとこのように思っております。

また、非常に難しい課題でありました新庁舎につきましましては、結果的に旧来の庁舎を耐震化して利用するという結果に落ちつきまして、現在、その他の公共施設とともに公共施設のあり方の、答申に基づきまして整備計画を着々と進めているところでございます。

今後は、この12年間は合併によるさまざまな課題の整理に費やした12年ではなかったかというように、私個人は、そういうように思っておりますけれども、これからは地方創生の波に乗り、地方創生の事業に関しまして新しい視点で、議会も執行部も江田島市の活性化のために、取り組んでいただきたいというように思っております。

そのほか、いろいろ語り尽くせぬことが、山ほどありますけれども、今は亡き大勢の先人たちから引き継ぎましたこの江田島市をよりよくするため、車の両輪であります議会と執行部が、市民の皆さんの思いを酌み取り、今後も活発に議論を重ね、江田島市を発展させていただきましますよう、お願いしたいと思います。

これまでも、議会での私の発言で、皆様に不愉快な思いをさせたことがたびたびあったかと思っておりますけれども、ことしの25年ぶりのカープの優勝に免じて、お許しをいただきたいというように思います。私も、12月4日をもって任期が切れますけれども、今後は一市民として、かけがえのない江田島市の発展のために、陰ながら応援してまいり

たいと思います。

これまで応援していただいた市民の皆さん、議会の皆さん、職員の皆様のご厚情に心からお礼を申し上げ、あわせて市民の皆様の幸せを祈念いたしまして、お礼の御挨拶とさせていただきます。

本当に長い間、ありがとうございました。

**○副議長（登地靖徳君）** 田中市長には、平成20年11月に江田島市の2代目の市長に当選されて、8年間市長としての重責を全うしてこられました。改めて敬意を表しますとともに、心よりお礼を申し上げます。

これで、平成28年第5回江田島市議会臨時会を閉会いたします。

皆さん、御苦労さまでございました。

なお、本日午後1時半から、全員協議会を開催しますので、議会棟3階の大会議室に御参集お願いいたします。

（閉会 11時34分）